

### 第3次省エネ・エコオフィス実践プラン21

#### (羽生市地球温暖化対策実行計画・事務事業編)の実施状況等について

#### 1. 令和6年度の総括

令和6年度における本市の事務事業に係る温室効果ガス排出量は、7,791 t-CO<sub>2</sub> (前年度比▲236 t-CO<sub>2</sub>、▲2.9%)となりました。

令和6年度は、電気使用量の多い施設で、省エネ意識を持ち業務の見直しを行ったことにより「電気の使用」の項目の活動量が減少したと考えられます。また、一部の施設で機器を入れ替えたことにより燃料効率があがったことから、「A重油」の項目の活動量が減少したと考えられます。

令和12年度の削減目標の達成に向け、引き続き省エネ・節電に取り組むことを基本としつつ、公共施設における再生可能エネルギーの導入や環境配慮契約を推進し、温室効果ガス排出量の削減に努めてまいります。

【温室効果ガス排出量の推移(年度別)】 (単位: t-CO<sub>2</sub>)

	H25 基準年度	R5	R6 今回算定	R12 目標
排出量	8,641	8,027	7,791	4,666
対基準年度増減量(増減率%)		▲614 (▲7.1)	▲850 (▲9.8)	▲3,975 (▲46)
対前年度増減量(増減率%)			▲236 (▲2.9)	

#### 2. 原因別活動量及び温室効果ガス排出量とその要因分析

【原因別(活動の種別)活動量(エネルギー使用量など)】

原因 (活動の種別)		単位	H25 基準年度	R5	R6 今回算定	対前年度 増減量	対前年度 増減率%
燃料の使用	ガソリン	L	46,069	37,685	37,291	▲394	▲1.0
	灯油	L	165,624	140,307	148,631	8,324	5.9
	軽油	L	22,442	20,282	19,595	▲687	▲3.4
	A重油	L	381,000	389,000	364,500	▲24,500	▲6.3
	LPG	kg	21,814	17,541	17,285	▲256	▲1.5
電気の使用		Kwh	13,409,448	13,440,671	13,285,365	▲155,306	▲1.2
一般廃棄物の焼却		t	13,796	12,626	12,774	118	0.9
その他	自動車の走行	km	630,129	444,460	437,456	▲7,004	▲1.6
	浄化槽によるし尿等の処理	人	4,089	3,588	3,558	0	0
	下水処理	m <sup>3</sup>	33,997	25,990	30,209	4,219	16.2
	カーエアコンの使用	台	128	130	131	1	0.8

【原因別（活動の種別）温室効果ガス排出量】（二酸化炭素に換算、単位：t-CO<sub>2</sub>）

原因（活動の種別）		H25 基準年度	R5	R6 今回算定	対前年度 増減量	対前年度 増減率%	R6 構成比%
燃料の使用	ガソリン	107	89	88	▲1	▲1.1	1.1
	灯油	412	349	370	21	6.0	4.7
	軽油	58	50	44	▲6	▲12.0	0.6
	A重油	1,033	1,054	988	▲66	▲6.3	12.7
	LPG	65	53	45	▲8	▲15.1	0.6
電気の使用		6,591	6,096	5,932	▲164	▲2.7	76.1
一般廃棄物の焼却		248	227	209	▲18	▲7.9	2.7
その他		127	109	115	6	5.5	1.5
計		8,641	8,057	7,791	▲236	▲2.9	100.0

【主要な項目の要因分析】

『電力の使用』の項目では、一部施設に再生可能エネルギー由来の電気を供給したことにより、排出量が各項目のうち最も減少しています。

『燃料の使用』のうち『灯油』の項目では、猛暑により冷房の使用が増えたことにより、排出量が増加しています。

3. 今後の措置・取組

本市の温室効果ガス排出量のうち、約76%を占める『電力の使用』を削減することが特に重要となります。今後も引き続き以下の取組を推進します。

① ハード面での有効な取組

- ・施設の統廃合による適正配置
- ・公共施設の照明LED化をはじめとした省エネ化改修
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入

② ソフト面での有効な取組

- ・排出係数の少ない再生可能エネルギー由来の電力を使用する環境配慮契約の推進